

平成16年3月期 第3四半期業績の概況（連結）

平成16年1月30日

上場会社名 三井造船株式会社

(URL <http://www.mes.co.jp/>)

問合せ先 代表者役職 代表取締役社長 氏名 元山 登雄
責任者役職 経理部長 氏名 川合 学

コード番号：7003

東1部、大1部、名1部、福、札

TEL：(03) 3544 - 3210

1. 四半期業績の概況の作成等に係る事項

売上高（又はこれに相当する事項）の会計処理の方法の最近連結会計年度における認識の方法との相違の有無 : 無

2. 平成16年3月期第3四半期業績の概況（平成15年4月1日～平成15年12月31日）

(1) 売上高（連結）

〔百万円未満切捨〕

	連結売上高	
	百万円	%
16年3月期第3四半期	306,699	()
15年3月期第3四半期		()
(参考)15年3月期	470,827	

(注) 売上高は、当該四半期までの累計値です。

四半期業績の開示は、平成16年3月期より実施しておりますので、前年同期実績及び増減率につきましては記載しておりません。

[売上高に関する補足説明]

当社の売上高は、環境装置、橋梁等の官公庁向け案件などを中心に下半期、特に年度末に集中する事業が含まれるため、第3四半期までの売上高と通期の売上高の関係は比例しない傾向があります。

[事業の種類別セグメント売上高]

事業部門	当第3四半期		(参考)前連結会計年度	
	自平成15年4月1日 至平成15年12月31日		自平成14年4月1日 至平成15年3月31日	
	金額	構成比	金額	構成比
	百万円	%	百万円	%
船舶	138,765	45.3	144,191	30.6
鉄構建設	13,916	4.5	74,726	15.9
機械	110,184	35.9	132,235	28.1
プラント	26,988	8.8	85,805	18.2
その他	16,844	5.5	33,869	7.2
合計	306,699	100.0	470,827	100.0

(2) 当該四半期において企業集団の財政状態及び経営成績に重要な影響を与えた事象

[概要]

当四半期における該当する事象は発生していません。

[参 考] 平成16年3月期の通期業績予想 (連結・単独)

平成16年3月期の連結業績予想 (平成15年4月1日 ~ 平成16年3月31日)

	売 上 高 (百万円)	経 常 利 益 (百万円)	当 期 純 利 益 (百万円)
今回発表予想(A)	480,000	12,000	6,000
前回発表予想(B)	480,000	16,000	6,000
増減額 (A - B)	0	4,000	0
〔増減率(%)〕	〔0.0〕	〔25.0〕	〔0.0〕

(参考) 1株当たり予想当期純利益(通期) 7円 24銭

平成16年3月期の単独業績予想 (平成15年4月1日 ~ 平成16年3月31日)

	売 上 高 (百万円)	経 常 利 益 (百万円)	当 期 純 利 益 (百万円)
今回発表予想(A)	280,000	5,000	3,000
前回発表予想(B)	280,000	8,000	3,000
増減額 (A - B)	0	3,000	0
〔増減率(%)〕	〔0.0〕	〔37.5〕	〔0.0〕

(参考) 1株当たり予想当期純利益(通期) 3円 61銭

[業績予想に関する定性的情報等]

一部事業で、環境悪化が下期に入って更に強まっており、特に公共事業の著しい縮減傾向の影響で、受注額が減少し操業度が期初予想より大幅に低下しております。9月以降の為替変動については予約等を通じて通常の工事売上分への影響は限定的ですが、工事進行基準売上分については、3月末の為替レートで計上される為、為替変動分の影響を想定して通期業績予想の経常利益を連結・単独とも修正いたします。なお、当期純利益については、金融資産圧縮策を計画的に推進した結果、連結・単独ともに昨年5月に発表した期初予想を達成する見込みです。

本資料に記載されている業績予想及び将来予想に関する記述につきましては、当社が現時点で入手可能な情報から得られた判断により記載、算出しておりますが、リスクや不確実性を含んでおります。実際の業績や状況は予想と異なることがあります。その要因のうち、主なものは、株式市場における相場や為替レート的大幅な変動、事業環境の予期せぬ変動などであります。

以 上